

アドビシステムズ社、 過去最高となる 2011 年度第 4 四半期および通年の業績を発表

デジタルメディアとデジタルマーケティングの事業機会を積極的かつ 確実に実行し、第 4 四半期と通年の業績が向上

【2011 年 12 月 16 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2011 年 12 月 15 日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2011 年度第 4 四半期（2011 年 9 月 3 日から 2011 年 12 月 2 日）および通年（2010 年 12 月 4 日から 2011 年 12 月 2 日）の決算を発表しました。

第 4 四半期の業績ハイライト

- ・ 売上は 11 億 5,200 万米ドル。目標範囲（10 億 7,500 万米ドル～ 11 億 2,500 万米ドル）を上回り、前年同期比では 14% 増
- ・ GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.35 米ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.67 米ドル
- ・ GAAP ベース営業利益は 2 億 4,610 万米ドル。GAAP ベース営業利益率は 21.4%。GAAP ベース純利益は 1 億 7,370 万米ドル。Non-GAAP ベース営業利益は 4 億 4,450 万米ドル。Non-GAAP ベース営業利益率は 38.6%、Non-GAAP 純利益は 3 億 3,260 万米ドル
- ・ 繰延収益は、4,760 万米ドル増の 5 億 3,170 万米ドル
- ・ 営業キャッシュフローは 4 億 9,680 万米ドル

2011 年度通年の業績ハイライト

- ・ 売上は、前年度の 38 億米ドルに対し、42 億 1,600 万米ドル。前年比の成長率は 11% で、年初に発表された目標の 10% を上回る
- ・ GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、前年の 1.47 米ドルに対し、1.65 米ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、前年の 1.93 米ドルに対し、2.35 米ドル
- ・ GAAP ベース営業利益は 10 億 9,900 万米ドル。GAAP ベース営業利益率は 26.1%。GAAP ベース純利益は 8 億 3,280 万米ドル。Non-GAAP ベース営業利益は 15 億 8,700 万米ドル。Non-GAAP ベース営業利益率は 37.6%。Non-GAAP ベース純利益は 11 億 8,300 万米ドル
- ・ 年間のキャッシュフローは 15 億米ドル
- ・ 年間を通じて 2,180 万株の株式を買い戻し、約 6 億 9,500 万米ドルを株主に還元

役員のコメント

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「アドビシステムズ社は、2011 年度の第 4 四半期ならびに通年において過去最高の業績を達成しました。これを牽引したのは、デジタルメディア事業とデジタルマーケティング事業両方の堅調な業績でした。これら 2 つの分野で市場リーダーとなることで、今後も堅調な増収増益の達成を目指します」と述べています。

アドビ システムズ社のエグゼクティブ バイス プレジデント兼 CFO であるマーク ギャレット (Mark Garrett) は、「1 年間の締めくくりとなる第 4 四半期を卓越した業績で迎えたことにより、アドビ システムズ社は、年初に設定された年間の売上成長目標を上回ることができました。また、年間を通じて 15 億米ドルのキャッシュフローを生成し、通年の Non-GAAP ベース 1 株当たり利益が 22% 増加しました」と述べています。

業績見通し

アドビ システムズ社は、2012 年度第 1 四半期の売上目標を 10 億 2,500 万米ドルから 10 億 7,500 万米ドルに設定しています。希薄化後 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.37 米ドルから 0.43 米ドル、Non-GAAP ベースで 0.54 米ドルから 0.59 米ドルです。

発行済株式数については、5 億株から 5 億 200 万株を目標にしています。また、営業外費用については、1,900 万米ドルから 2,200 万米ドルを見込んでいます。実効税率は、GAAP ベース、Non-GAAP ベースともに約 23% と予想しています。

2012 年度の売上成長率は、引き続き 4% から 6% を目標としています。希薄化後 1 株当たり利益については、GAAP ベースで 1.70 米ドルから 1.83 米ドル、Non-GAAP ベースで 2.37 米ドルから 2.47 米ドルを目標としています。

これらの目標には、2012 年度第 1 四半期後半に完了予定の Efficient Frontier 社の買収予定による影響は含まれていません。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業外費用、実効税率、株式数、1 株当たり利益、および当社の市場環境への適合性に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 新製品およびサービス、または既存製品およびサービスの新しいバージョンまたは機能強化に関して、顧客の要求に応える開発、市場投入、流通の失敗
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品およびサービスならびにビジネスモデルの市場投入
- ・ 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- ・ 経済状況および金融市場の不確実性、およびアドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な政治または経済的環境の不利な変化
- ・ 新規事業からの売上予測の難しさ
- ・ 過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- ・ 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- ・ アドビ システムズ社の知的財産を第三者による侵害、不正複製、不正使用、または不正開示から保護できないこと
- ・ 当社の製品およびシステムのセキュリティに関する脆弱性
- ・ 当社のサービスまたはサービスのホスティングまたは提供を行うサードパーティサービスプロバイダからのサービスの中断または遅れ
- ・ セキュリティまたはプライバシーの侵害、もしくはデータ収集の失敗

- 販売経路および流通経路ならびにサードパーティの顧客サービスまたは技術サポートのプロバイダの効果的な管理の失敗
- 天災、大惨事による事業中断
- 世界的な事業展開に伴うリスク
- 外国為替相場の変動
- 当社の債務返済義務に伴うリスク
- 会計原則またはその解釈の変更
- アドビ システムズ社の営業権または無形資産の減損
- 税に関する法令またはその解釈の変更
- 主要な人材を集め、維持することができないこと
- 資本市場の悪化による投資ポートフォリオの減損

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビ システムズ 社が証券取引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が 2011 年度（2010 年 12 月 4 日から 2011 年 12 月 2 日）について 2012 年 1 月中に提出予定の四半期報告書（Form10-K）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.